

基調講演

「関西・泉州地域におけるインバウンドの現状と展望
～実態調査・経済波及効果の推計から～」

宮本 勝浩

(公益財団法人堺都市政策研究所 理事長、関西大学名誉教授、大阪府立大学名誉教授)



皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、多数のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、堺都市政策研究所が平成27年度に実施しました調査研究結果をもとに講演を進めたいと思います。第1章は訪日外国人の動向等実態調査、第2章では関西における訪日外国人の経済波及効果についてお話させていただきます。

訪日外国人の実態調査について

まず、この実態調査は平成27年12月14日、15日に関西国際空港（以下、「関西空港」）とりんくうプレミアム・アウトレットで行いました。サンプル数は合計365件と若干少ないですが、結果報告をさせていただきます。

■どこから来られたか

この期間では香港（20.5%）が一番多く、次いで台湾（19.5%）、中国と韓国（18.6%）であった。

■年齢

意外にも若い方が非常に多く、20歳代（33.7%）、次いで30歳代（30.1%）、40歳代（18.6%）であった。以前はどちらかというと欧米系、そして年配の方が多かった。

■来日回数

1位 初めて（32.1%）と2位 2回目（21.1%）を合わせると50%を超える割合であった。また、10回以上の来日が12.1%もあった。

■旅行の主な目的

ショッピングが一番多いかと考えていたが、実は観光地めぐり（73.2%）が圧倒的に多かった。ショッピングは、2番目ではあるが12.9%であった。

■関西の魅力（複数回答）

一番多い回答が、日本の食・お酒（57.5%）であった。次いでショッピング（56.4%）、自然・景勝地観光（47.7%）であった。

■「泉州」の認知度

残念ながら「知らない」が85.2%であった。

■「泉州」での宿泊

10.1%の方が宿泊している。昔は、海外から来られた方は関西空港に着いてすぐ大阪や京都に行き、泉州には全くストップしないと言われていました。しかし、最近は少しずつではあるが宿泊者数が増え、泉州の認知度は高まりつつあると考えられるが、まだまだ充分ではないといえる。

経済波及効果について

続きまして、第2章に入らせていただきます。

これまで、関西地域における訪日外国人の消費による経済波及効果を分析した報告書は、いくつかあるのですが、分析のほとんどは関西空港を利用していない人も全て含めたものでした。

私たちは今回、関西のゲートウェイである関西空港を利用いただいている方たちの分析を行いましたので報告させていただきます。

※報告の中では、関西だけでなく「近畿地域」という言葉も使っており、これは経済効果の分析をする際に利用する「近畿地域産業連関表（近畿経済産業局）」に含まれる、2府5県（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県及び福井県）の近畿地域を指しています。

■2015年に関西空港を利用した訪日外国人数

合計5,685,875人であり、その中でも中国（1,690,504人）から来た人が一番多かった。

■訪日外国人の旅行消費単価 ～近畿地域～

想像していたとおり中国（318,648円／人）から来た人が一番多く使っており、次いで韓国（254,768円／人）、台湾（239,102円／人）の順であった。

■関西空港を利用した訪日外国人の大阪府への経済波及効果

大阪府で計算すると4,308億円もの経済波及効果を訪日外国人がもたらしている。（資料1）

国籍・地域	経済波及効果(億円)	割合(%)
中国	1,601.43	37%
韓国	803.82	19%
台湾	799.52	19%
その他の国・地域	1,103.69	26%
合計	4,308.46	100%

* 割合欄は、整数表記により小数点以下を四捨五入しているため、合計は100%になりません。

資料1：関西空港を利用した訪日外国人の大阪府への経済波及効果

■関西空港を利用した訪日外国人の近畿地域への経済波及効果

近畿地域で計算すると6,312億円もの経済波及効果を訪日外国人がもたらしている。（資料2）

国籍・地域	経済波及効果(億円)	割合(%)
中国	2,364.52	37%
韓国	1,178.27	19%
台湾	1,166.34	18%
その他の国・地域	1,603.02	25%
合計	6,312.15	100%

* 割合欄は、整数表記により小数点以下を四捨五入しているため、合計は100%になりません。

資料2：関西空港を利用した訪日外国人の近畿地域への経済波及効果

以上のことから、訪日外国人は非常に大きな経済波及効果をこの関西に与え、つまり関西空港が関西経済に貢献しているということがわかりいただけたと思います。

最後に

この地元泉州に、もっと訪れていただき、良いところを知って、泊まっていただくということが必要ではないかと思います。

泉州地域をよく知っていただくために、まず私が考えておりますのは、大阪府をはじめ、堺市、羽曳野市、藤井寺市が頑張っておられる百舌鳥・古市古墳群、これを世界文化遺産に登録するということです。登録されますと、必ず外国人の観光客が泊まってくれます。これは非常に大きなインパクトになります。

私も依頼があって、世界遺産に登録した場合の日本のいろんな名所や遺跡の経済波及効果の計算をいたしました。世界遺産に登録された途端、爆発的に訪問客が増えます。これは日本人もそうですし、外国人も増えます。

ですから、百舌鳥・古市古墳群を是非、世界遺産に登録していただきたい。これは堺市だけではなく、大阪府にとって初めての世界遺産登録となり、泉州地域にとっても、非常に大きなプラスになるわけです。

さらに私は、外国の人に喜んでもらうために、皆さんもよくご存じの岸和田のだんじり祭をもっとアピールしてもいいのではないかと思います。

例えば岸和田、貝塚、泉佐野、堺、みんなそれぞれに素晴らしいだんじりを持っていて「まつり」をしています。これを9月の間にほとんど日を置かず、今日は岸和田、次の日は堺、さらに泉佐野、貝塚という形でコンパクトにまとめて、この期間は大阪・泉州に来たら必ずだんじり祭を見れるという連携が大切ではないかと思っています。

東北の「ねぶた祭」や「^{かんとう}竿燈まつり」、「七夕まつり」は、実は開催時期がバラバラだったんですけれども、ある時に1週間にまとめたんです。それで東北に、もの凄い数の観光客が来るようになりました。1ヶ所だけではなく青森に行って、秋田に行って、次に仙台に行く。いろんな形でどんどん観光客が流れていく仕組みをつくったわけです。

先程も申しましたとおり、泉州には「だんじり」という非常に素晴らしい文化遺産がありますので、これをうまく使うことも大切ではないかなと思っています。

今、関西地域は追い風が吹いていると考えております。ですからこの追い風を利用して、訪日外国人に心のもったおもてなしをして、関西ファン・泉州ファンになっていただいて、リピーターを増やしていくということも大切です。

この6,312億円という数字が、どれだけの経済波及効果かと言いますと、阪神タイガースが10年間連続で優勝した時よりも大きいんですよ。それを1年間で関西空港は稼いでいるわけです。これを我々は、もっともっと広げ、大きくしていくことが大切ではないかと思っています。

以上で、私の話を終わらせていただきます。どうもご清聴、ありがとうございました。